

静岡県伊豆の国市における森林環境譲与税の活用について

■活用状況(全体像)

区分	令和元年度～ 令和5年度	令和6年度	計	令和6年度末 時点の活用率	未執行額の活用方針
活用額(円)	31,004,900円	7,022,000円	38,026,900円	64%	・森林経営管理制度による意向調査及び森林整備 ・危険木伐採の補助(森林環境整備事業費補助金) ・林道橋梁点検
譲与額(円)	44,871,000円	14,258,000円	59,129,000円		

■令和6年度の具体的な活用状況

区分	事業区分	事業費	うち 森林環境譲与税	事業内容
森林整備	意向調査、 集積計画作成	6,325,000円 (R7へ繰越)	6,325,000円	全体計画の優先順位に従い、韮山北エリアの5.89haで意向調査及び集積計画作成を実施。R7年度に事業を繰り越し、不明所有者の探索を継続
森林整備	森林保護対策	697,000円	697,000円	ナラ枯れ等の危険な樹木を伐採するための費用を5件補助
基金積立		7,236,000円	7,236,000円	森林環境整備促進基金に積み立て
合計		14,258,000円	14,258,000円	

■今後の実施計画

①森林経営管理制度による意向調査及び森林整備

R7年度は、韮山南エリア6.73haの意向調査及び集積計画作成を予定。

集積計画がR7年度に完成する予定の韮山北エリア及び韮山南エリアの整備は、R8年度に実施する。



制度説明会の様子

②林道橋梁点検

林野庁の「林道施設長寿命化対策マニュアル」では、林道施設は5年に1回の点検が必要とされている。林道橋梁のうち、橋梁延長4m未満の4橋について、R7年度に点検を実施。



R2年度点検の様子